

# 県政ネットワーク

県政ネットワーク 発行者発行人 田中ただみつ  
所在地 〒633-2166 宇陀市大宇陀迫間5 1-3  
電話 0745-83-1188 F A X 0745-83-3272  
携帯電話 090-1440-3444  
ホームページ <http://www6.ocn.ne.jp/~tadamitu/>  
E-mail [tadamitu@sweet.ocn.ne.jp](mailto:tadamitu@sweet.ocn.ne.jp)

## 荒井知事と予算折衝

### へき地教育・過疎対策 議員連盟

**施策の要望** 1月13日、国中憲治氏（吉野郡）、新谷紘一氏（奈良市山辺郡）、岡史朗氏（橿原市）と田中ただみつの4議員で知事室を訪問し、関係地域の課題について要望いたしました。また県教育長には、へき地教育の抱える課題について要望いたしました。昨年暮れには、各関係市町村教育長、県教育長を始め県教育委員会各課長と私たち議員連盟上記議員の三者が、課題の点検とフリーディスカッションを行い、小規模学校のより良い教育の推進に向け議論を深めたところです。



質問が寄せられました。

室生大野地域の一部が、県水の供給はないとの市の方針が伝えられている。従来通りの送水をするのであれば、内山浄水場は今後も必要になるかどうかのお話でありました。

そこで、奈良県水道局へ確認を致しました。それによりますと、宇陀市の水道施設の整備計画を立てており、大野地区についても順次県水へ移行することになっている。奈良県水道局によると、大野の線路沿い近くの一部地域と古大野供給地域は平成29年より県水転換予定となっているとの回答がありましたのでご報告いたします。

その理由は、送水を開始するための宅地域での施工が必要となり、工事計画の中で、大野の一部、古大野供給エリアについては、給水をしばらく待っていただく必要があるとのことでした。



### 県立高等学校を緊急避難場所

榛原、大宇陀の関係自治会の方々から、緊急避難場所として県立高等学校が含まれないのはなぜか、との問いかけがありました。

宇陀市が発行した緊急避難場所の中に、県立高校の名前がなかったため、県当局へ確認を致しましたところ、他の県立高校が避難場所になっている事例はあります。宇陀市内の学校についても同じ考え方であり、市当局と相談致しますとの回答がありました。

既に県と市で相談は開始されているかと思いますが、避難場所の指定が行われることになれば安心の範囲が広がることと思っています。

ご期待をいただいで良いものと考えています。



### 榛原小学校140周年記念式典に出席

榛原小学校は明治4年に創立されました。式典は、PTA 会長北脇俊介氏、校長北森基之氏の連名で催され、ご挨拶は厳粛に、生徒の発表は和やかに、そして記念講演と素晴らしい式典でした。

### 榛原小学校体育館竣工

記念式典に先立ち、体育館の竣工式が行われました。色使いや、採光に工夫を凝らし、子供たちが元気に運動できる施設として利用されることでしょう。将来、日本を担うアスリートがこの体育館を使って基礎体力を養っていたといえるよう今後の活用に期待します。ソーラー発電で環境に配慮し、地域住民との連帯が考えられており、災害時には避難場所として提供されることになっており、マンホールトイレが整備されているそうです。優れたものの体育館との印象を受けました。

### 宇陀に関する来年度計画（案）

上程され審議中の予算案の中で、宇陀地域にかかわる部分から、いくつかを紹介します。

**創業支援資金（南部・東部枠）** 認定支援機関の支援を受け、県内で創業しようとするもので、県が認定したもの。

**南部、東部振興物産販売促進支援事業** 南部・東部地域の産業活性化のため、市町村が実施する物産展の開催または物産展への出店経費に対し補助を行う。

**一般農道整備事業** 宇陀市室生向洲地区が、県内のほかの地域と並んで、事業推進の予算が組まれている。

**曾爾のススキ景観向上事業** ススキの衰退原因である踏み荒らし等を防止するため、侵入防止柵及び案内板を設置

**アートウィーク・イン菟田野開催事業** 著名なアーティストを招へいし、アートイベントを開催

### 拉致問題解決促進議員連盟

平成26年12月1日

県議会では、北朝鮮の拉致問題に関して、議員連盟を設立しました。

政府と北朝鮮の交渉は、拉致問題のテーブルに着いたがその後の進捗は不明です。県議会として早期の解決を望み、意思表示をするため、議員連盟を結成しました。他のほとんどの都道府県議会では既に誕生していましたが、ようやく議員連盟として活動することになりました

### 宇陀土木事務所 菟田野地域事務所で業務

従来、大宇陀迫間にあった奈良県宇陀土木事務所は、菟田野の宇陀市地域事務所に移りました。

宇陀土木事務所として所長以下、機能を果たす体制であり、他の土木事務所と同格で、これからも、宇陀地域、東吉野村の所轄地域の整備に貢献してくれるものと思っています。また、新しい場所は、旧菟田野町役場であり、居心地よさそうです。

### 県営水道に関してご質問

直前号で県営水道室生ランチについて、奈良県側の答弁を掲載しましたところ、室生地区の方々から、

# 県議 行 報 告

## 第三百十七回県議会

定例十二月議会(昨年十二月)

提案された議案は、補正予算は一件、条例が六件、契約十三件、県営水道の計画変更、報告三件の議案でした。

補正予算関連の提案の主なもの、地方創生、地域産業の支援、観光の振興、雇用対策の推進、農林業の振興、医療の充実、福祉の充実、学びの支援、文化の振興、南部地域・東部地域の振興、台風十一号による災害への対応、その他の項目に分け提案されたものです。

今回の補正は、消費税引き上げによる景気落ち込み回避を目指す国の補正予算の編成によるもので、県の施策予定事業の中で、補助事業が認められたものの推進であったり、二十七年度で行いたい事業への組み入れを債務負担行為や予定した基金としての会計処理が多かったと思います。

補正予算総額は、百十一億六千八百四十万三千元

個所付けについては、  
◎奈良県文化会館、県立美術館及びその周辺地域を一体整備し、魅力ある文化空間を創出するための基本計画の策定(県費)する。

◎路線バスを活用した誘客オフシーズン対策事業。オフシーズンに定期バスで南部・東部へ宿泊旅行した方に、バス代を還元する。

◎県立大学シニアカレッジ中南和分校開設準備事業。畝傍高校でシニアカレッジを開く。

◎空き店舗活用起業支援事業  
◎中小企業若手経営者事業拡大支援事業  
◎知事及び県議会議員選挙執行経費

二億五千七百六十万円、等が含まれており、今回の補正予算が成立したことにより、十二月時点で補正後予算総額は、四千九百四十八億六千七百六十三万五千元

となりました。昨年の同時期と比べ六、九%の増額となっています。

### 関係審議会開催

田中ただみつ議員が委員の審議会報告。

#### 都市計画審議会委員

二月三日に行われた都市計画審議会では、宇陀川流域浄化センターについての提案がありました。内容としては、従来通りの流域下水道として運用できるように、諸手続きを進めることについての同意を求めたものでありました。都市計画審議会では、異論がなく決めることができました。

#### 環境審議会委員

二月五日に開催された環境審議会では、建設資材として大きな役割を担う石材に関して、現在ある施設の拡張、および砕石計画期間について、審議会が求める環境アセスメントにかかわる審議がありました。

現在大淀町にある施設で、国道169号線高取町からトンネルをくぐり大淀町に入った左側の施設について、真剣な論議が行われました。環境審議会の議事録は、奈良県の環境情報サイト「エコなら」に近々掲載されます。

### 総務警察委員会

十二月十日に開かれた委員会で、田中ただみつ議員は、三つの項目に関して発言を行った。うち二つを紹介します。

①、医科大学付属病院の売店のありかたについて要望、以前の弘済会売店の時には、患者の必要とする商品のスペースが広がったし、その種類も多かったように記憶する。今回、コンビニに売店してもらったことに異論はないが、患者関連の商品が少なくなならないように、店内のありかたを考え直してもらいたい必要がある。

#### ②、県庁六階食堂の運営について

県庁職員れすとらん食堂が閉鎖されてからかなりの時が経過している。どのような考えでおられるのか。②についての答弁は、開設に向け努力している。食堂としての採算性の悪さから脱却したいことを含め、一般の方々にも利用してもらえようにと見晴らしの良い六階での位置を確保した。レストラン食堂の開設を目指し作業中です。

### 平成二十六年補正予算と

### 平成二十七年予算の内示

二月十日知事、教育長から予算の内示がありました。内示は、各党派並びに議員連盟要望項目についてです。自民党派として、来年度の予算編成方針と全体像を聞き、へき地教育・過疎対策議員連盟では抱えるテーマへの回答がありました。東部振興計画や農林業についても、積極的な施策が盛り込まれ、期待ができると感じています。

又、教育長からは、教科担任のありかたについて改善を試みることを打ち出した点の意欲が示され、へき地教育のありかたに気持ち寄せられました。

しい時代をつくるための積極的な取り組みが示されています。

具体的な項目は予算成立段階でご報告させていただきますが、二月から三月にかけての県議会で十分審査することになります。

## 三二八回

### 定例県議会招集

二月二十三日定例県議会が招集されました。今議会は、来年度予算の審議がメインテーマです。一般会計予算総額は五千六十二億六千九百四十七万六千円。知事は、知事選挙が行われるため、骨格予算として取り組みを示すとしているが、実質的な内容を多く含んでおり、大切な審議だと思っています。予算規模等全体像は、各社新聞紙上でご覧いただいているとして、今回は掲載しません。

### 田中ただみつ議員

### 予算委員長就任

来年度予算は、三月五日にその審議を予算委員会に付託しました。今月五日の本会議で、予算委員会(十一名)のメンバーと、委員長が決められた。

今回、委員長に、田中ただみつ議員が選ばれました。予算委員会は、三月六日から十三日まで審議が行われ、その結果を十八日に委員長報告として、審議の経過と結果が報告されます。委員長は質問するというよりは、委員会の運営、取りまとめが主な仕事です。

### 決算審査の考え方生かされる

平成二十五年決算審査をうけ、九項目の要望事項に対する県の措置状況の報告がありました。そのうちのひとつは、南部・東部地域への若者の移住は、人口減少・少子化対策に資するとともに地域活性化にも寄与することから、情報発信などインターン・Uターン増加につながる取り組みを推進されたいこと。措置状況●平成二十七年一月より東京まほろば館に移住コンシェルジュを設置し、相談や情報発信を充実。●平成二十



来年度予算は、統一地方選挙があるため、骨格予算とした旨の前置きがありました。新

六年十二月補正予算により、南部地域・東部地域へ来訪した宿泊観光客のバス運賃を全額補助することにより誘客促進を実施

●平成二十七年は、移住先として認知度を高める事や、意欲を促すための三取り組みをおこなう。情報発信、イベントの開催、移住希望者への情報提供、受け入れ希望地域への「地域受入協議会」の取り組みへの補助等

### 県営水道計画

“ぷらん2019”が提出され水道事業の変更の計画が提出されました。

それによると、水需要拡大の時代から人口減、節水意識の向上等による需要の横ばい又は縮小の時代への大きな転換期にあります。計画目標の年次を平成三十一年度とし、前半の五年間が終わることにより、計画の見直しをおこないました。今後は新しい幹線を建設することは困難であり事実上室生プランチが最後の幹線となりました。今後は、平成三十一年度の県営水道のあるべき姿(目標)を設定し、アプローチする。とりわけ、その中でも四年ごとに水道料金の見直し、おいしい水の供給が計画されています。

### 工事中

大宇陀岩清水で狭く危険な笹峠の拡幅工事が始まりました。両側を切り取るため、



工事は、来年度予算を含めての予定。歩行者、自転車、単車、車の通行が安全になります。